

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社イントラスト 上場取引所 東
 コード番号 7191 URL <https://www.entrust-inc.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑原 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部長 (氏名) 太田 博之 (TEL) 03(5213)0250
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,017	17.8	567	13.6	569	13.3	386	14.9
2020年3月期第2四半期	1,712	13.6	499	39.3	502	40.1	335	41.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	17.31		17.27					
2020年3月期第2四半期	15.13		15.04					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,980	3,667	73.6
2020年3月期	4,726	3,376	71.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,667百万円 2020年3月期 3,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
2021年3月期	—	5.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,250	17.2	1,166	14.1	1,170	14.0	790	14.9	35.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	22,357,522株	2020年3月期	22,288,522株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	138株	2020年3月期	138株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	22,309,817株	2020年3月期2Q	22,201,925株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記載等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料については、2020年10月30日（金）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、経済環境は急速に悪化しましたが、緊急事態宣言解除後は、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種施策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが継続することが期待されます。一方で、今後の感染症の動向により景気の先行きは極めて不透明であります。

当社の関連業界である住宅関連業界においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、賃貸住宅の入退去の動きの鈍化が懸念されましたが、緊急事態宣言解除後の経済活動レベルの引き上げに応じて、持ち直しが見られます。

このような事業環境のもと、当社はこれまで培ってきた家賃債務保証のノウハウを活かし、様々な分野における独自の保証サービス及びソリューションサービスの開発・提案・販売に取り組んでまいりました。

このような取り組みの結果、当第2四半期累計期間の売上高に関しては、保証事業の売上高は、1,093百万円(前年同期比28.4%増)、ソリューション事業の売上高は、924百万円(前年同期比7.4%増)となり、合計で2,017百万円(前年同期比17.8%増)となりました。これは、新型コロナウイルス感染症拡大による影響により、新規顧客開拓の一部に遅れが生じた一方で、医療費用保証が進展し保証事業の成長を牽引したこと、家賃債務保証についても新規契約が順調に推移したことなどによります。

営業利益に関しては、基幹システムの入替えや養育費保証の市場開拓への投資は計画通り進める一方で、滞納発生率や回収率が想定内で推移したことにより貸倒費用が抑制され、その他の費用増加についてもある程度抑制出来たことにより、567百万円(前年同期比13.6%増)となり、経常利益は569百万円(前年同期比13.3%増)、四半期純利益は386百万円(前年同期比14.9%増)となりました。

なお、当社は総合保証サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は4,980百万円となり、前事業年度末に比べ253百万円増加となりました。

流動資産は、4,143百万円となり、前事業年度末に比べ43百万円増加となりました。これは、現金及び預金が100百万円、売掛金が35百万円減少した一方、立替金が167百万円増加したことなどによります。

固定資産は、836百万円となり、前事業年度末に比べ209百万円増加となりました。これは、投資その他の資産が122百万円、無形固定資産が87百万円増加したことなどによります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、1,312百万円となり、前事業年度末に比べ37百万円減少となりました。

流動負債は、1,261百万円となり、前事業年度末に比べ42百万円減少となりました。これは、前受収益が61百万円増加した一方、未払法人税等が21百万円、その他流動負債が83百万円減少したことなどによります。

固定負債は、51百万円となり、前事業年度末に比べ4百万円増加となりました。これは、固定負債その他が4百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、3,667百万円となり、前事業年度末に比べ291百万円増加となりました。これは、配当の支払により111百万円減少したものの、四半期純利益386百万円を計上したことにより、利益剰余金が増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,917百万円となり、前年同四半期末に比べ105百万円増加となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と

それらの増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、243百万円（前年同四半期は226百万円の増加）となりました。主な増加要因は、税引前四半期純利益569百万円、売上債権の減少額35百万円、前受収益の増加額66百万円などです。一方、主な減少要因は、立替金の増加額167百万円、未払金の減少額50百万円、法人税等の支払額207百万円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、240百万円（前年同四半期は238百万円の減少）となりました。主な減少要因は投資有価証券の取得による支出107百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出133百万円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、102百万円（前年同四半期は75百万円の減少）となりました。主な減少要因は、配当金の支払額111百万円などです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年10月19日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,017,605	2,917,573
売掛金	241,392	205,964
立替金	1,059,851	1,227,195
その他	246,239	275,635
貸倒引当金	△464,944	△482,635
流動資産合計	4,100,143	4,143,733
固定資産		
有形固定資産	57,895	57,833
無形固定資産	138,556	226,058
投資その他の資産	430,007	552,476
固定資産合計	626,459	836,368
資産合計	4,726,603	4,980,102

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,519	17,928
未払法人税等	225,239	203,422
前受収益	716,604	778,571
賞与引当金	43,653	51,431
保証履行引当金	85,592	73,316
その他	219,696	136,494
流動負債合計	1,303,306	1,261,165
固定負債		
資産除去債務	41,885	41,950
その他	5,377	9,464
固定負債合計	47,263	51,415
負債合計	1,350,569	1,312,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,022	1,044,438
資本剰余金	826,591	831,007
利益剰余金	1,534,207	1,808,843
自己株式	△107	△107
株主資本合計	3,400,713	3,684,182
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△24,900	△16,674
評価・換算差額等合計	△24,900	△16,674
新株予約権	220	13
純資産合計	3,376,033	3,667,521
負債純資産合計	4,726,603	4,980,102

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,712,475	2,017,586
売上原価	804,672	1,000,531
売上総利益	907,802	1,017,055
販売費及び一般管理費	408,077	449,147
営業利益	499,725	567,907
営業外収益		
受取利息	14	15
有価証券利息	384	1,031
受取配当金	374	408
基金返還益	2,000	—
雑収入	11	168
営業外収益合計	2,785	1,624
営業外費用		
雑損失	0	—
営業外費用合計	0	—
経常利益	502,509	569,531
特別利益		
固定資産売却益	271	—
特別利益合計	271	—
税引前四半期純利益	502,781	569,531
法人税、住民税及び事業税	167,257	186,420
法人税等調整額	△408	△2,967
法人税等合計	166,848	183,453
四半期純利益	335,932	386,078

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	502,781	569,531
減価償却費	14,983	12,682
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19,067	17,690
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,246	7,778
保証履行引当金の増減額 (△は減少)	742	△12,276
受取利息及び受取配当金	△773	△1,455
固定資産売却損益 (△は益)	△271	—
基金返還益	△2,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	27,607	35,428
前払費用の増減額 (△は増加)	△21,970	△35,870
未収入金の増減額 (△は増加)	△133	2,195
立替金の増減額 (△は増加)	△143,871	△167,344
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,171	5,408
未払金の増減額 (△は減少)	△22,740	△50,583
前受収益の増減額 (△は減少)	22,332	66,054
その他	△14,307	△48
小計	384,371	449,190
利息及び配当金の受取額	388	1,404
法人税等の支払額	△158,036	△207,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,723	243,230
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△44,837	△133,487
有形及び無形固定資産の売却による収入	3,899	—
投資有価証券の取得による支出	△200,000	△107,000
差入保証金の差入による支出	△117	△180
差入保証金の回収による収入	176	236
基金の回収による収入	2,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,878	△240,432
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	2,575	8,625
自己株式の取得による支出	△44	—
配当金の支払額	△77,625	△111,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,095	△102,829
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△87,250	△100,032
現金及び現金同等物の期首残高	2,899,792	3,017,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,812,541	2,917,573

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。